

1 介護予防・生活支援サービス事業

(1) 第1号訪問事業

	5年度	6年度 (9月審査分)
訪問介護相当サービス	669件	382件
訪問型サービスA	103件	38件
訪問型サービスC	0件	1件
計	772件	421件

(2) 第1号通所事業

	5年度	6年度 (9月審査分)
通所介護相当サービス	2,438件	1,225件
通所型サービスA	0件	0件
通所型サービスC	0件	2件
計	2,438件	1,227件

(3) 介護予防ケアマネジメント事業

	5年度	6年度 (9月審査分)
包括作成分	341件	190件
委託分	938件	524件
住所地特例分	16件	10件
計	1,295件	724件

2 一般介護予防事業

(1) 介護予防把握事業 (もの忘れ検診)

30項目からなる、介護予防・もの忘れ検診チェックリストを実施し、早期の認知症を把握する。高齢者ふれあいサロン等の集いの場や、高齢者の相談窓口等で実施することとし、二次検診対象者に対して受診勧奨を行っていく。

	受診者	二次検診対象者	二次検診受診者	要治療 経過観察
5年度	61人	16人	1人	0人
6年度 (9月末)	57人	12人	0人	0人

(2) 介護予防普及啓発事業 (認知症講演会)

認知症予防、介護予防に関する知識を、広く市民に普及する。

5年度	回数	参加人数	6年度	回数	参加人数
	1回	106人		1回	81人

※令和5年度は映画上映会とVR体験会を開催した

(3) 地域介護予防活動支援事業

地域住民による自主的な介護予防を推進するための事業で、介護予防教室、高齢者ふれあいサロン事業等を実施している。

5年度	回数	開催箇所	延べ参加人数
介護予防教室	92回	8会場	875人
高齢者ふれあいサロン	921回	61会場	10,616人
介護予防講師派遣事業 (お出かけほっとサロン事業)	144回	4会場	2,393人
6年度 (9月末)	回数	開催箇所	延べ参加人数
介護予防教室	40回	7会場	494人
高齢者ふれあいサロン	概ね月1回	63会場	年度末集計
介護予防講師派遣事業 (お出かけほっとサロン事業)	71回	4会場	1,268人

(4) 地域リハビリテーション活動支援事業

ご当地体操「元気！結ゆい体操」の啓発用DVDを使用し、理学療法士等による指導を含めた普及教室を実施する。

	実施箇所	実施回数	参加者数
5年度	3ヶ所	9回	69人
6年度 (9月末)	3ヶ所	5回	42人

3 包括的支援事業

(1) 総合相談支援事業

地域包括支援センターと、そのブランチ（支店）機能を持つ、市内4か所の在宅介護支援センターで相談業務を行う。

①地域包括支援センターでの相談受付

	5年度	6年度 (9月末)
相談受理件数	814件	438件
うち新規相談件数	564件	316件
虐待受理件数	4件	3件
うち虐待と判断した件数	0件	0件

②在宅介護支援センターでの相談受付 (在宅介護支援センターへ委託)

		聖和園	和光園	社会福祉協議会 (陽明) (和泉)	計
相談 件数	5年度	437件	172件	105件 34件	748件
	6年度 (9月末)	49件	96件	48件 19件	212件

- ③在宅介護支援センター連絡会の開催（5年度：6回、6年度(9月末):5回）
 （生活支援コーディネーター定例会と合わせて開催、情報共有・連絡事項等実施）

- ※【在宅介護支援センター】・福井県済生会聖和園：旧上庄・尚徳中学校校区担当
 ・大野和光園：旧開成中学校校区担当
 ・大野市社会福祉協議会：旧陽明中学校校区担当
 ・大野市社会福祉協議会（和泉）：旧和泉中学校校区担当

(2) 権利擁護事業

高齢者虐待への対応と、虐待予防の啓発及びネットワークの構築、成年後見制度の利用相談、消費者被害の防止などにより、高齢者の権利を守る。

	高齢者・障害者虐待防止ネットワーク会議	高齢者虐待防止講演会
5年度	1回（委員15人）	1回、106人
6年度（9月末）	1回（委員15人）	1回、81人

※令和5年度は映画上映会とVR体験会を開催した

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

包括的・継続的なケア体制の構築、ケアマネジャーへの指導や助言を行う。

①地域包括支援センター運営協議会：年1回開催

②ケアマネ会議：市内居宅介護支援事業所のケアマネジャーの連絡会及び研修会

	令和5年度	内 容	合計（人）
1	4月20日(木)	会議「事務連絡(事業所・市)、情報交換会等」	29人
2	5月16日(金)	研修会「成年後見制度について」 講師：福井弁護士会所属 岩本・上坂法律事務所 弁護士 岩本雄太氏	29人
3	7月13日(木)	会議「令和6年度介護保険法改正について」 研修会「介護予防ケアプランの作成について」 講師：大野市地域包括支援センター職員	30人
4	7月22日(土)	在宅医療・介護連携推進 市民公開講座 「ACPについて」 講師：医療法人社団ナラティブホーム理事長 ものがたり診療所所長 佐藤伸彦医師	11人
5	9月29日(金)	地域包括ケアネットワーク勉強会 「高齢者の救急対応」 講師：福井大学医学部附属病院 講師 小淵岳恒医師	15人
6	12月15日(金)	研修会（講義・演習） 「精神疾患をもつ方への支援」 講師：福井県立病院看護部 精神科認定看護師 宮崎宏一氏	29人

7	3月14日(木)	地域包括ケアネットワーク勉強会 「急変時の対応について」 講師：大野市医師会長 高井博正医師 大野市消防本部 倉内亨救急救命士	21人
8	3月27日(水)	会議：令和6年度介護保険法改正について	22人
合計 8回			186人

※令和6年度：9月末で4回開催、78人参加

(4) 在宅医療・介護連携推進事業

地域の医療・介護関係者による会議の開催、在宅医療・介護関係者の研修等を行い、在宅医療と介護サービスを一体的に提供する体制を構築する。

事業項目	5年度	6年度(9月末)
在宅医療 コーディネーター	・在宅医療相談支援センターに1名配置 ・市民や関係機関からの相談対応(5年度：74件 6年度：47件)	
地域医療 推進連絡会	4回開催、委員12人	2回開催、委員12人
在宅医療・介護連携 市民公開講座	『大野で生きる・人生100年時代のACP(人生会議)と在宅の看取り』をテーマに講演会実施 講師：富山県砺波市 ものがたり診療所 所長 佐藤伸彦氏 7/22(土)に開催、70人参加(うちWeb参加8人)	『大野で生きる・住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために～永源寺の地域まるごとケア～』をテーマに講演会実施 講師：滋賀県東近江市永源寺診療所 所長 花戸貴司氏 8/3(土)に開催、68人参加
地域包括ケア ネットワーク 勉強会	大野市医師会と協力して開催。 ①9/29に「在宅や施設における高齢者の救急対応を学ぶ」と題して日頃の救急対応についての研修会を開催。77人参加(うちWeb参加49人) ②3/14に「急変時の対応」と題して講義と事例をもとにしたグループワークを実施。51人参加	大野市医師会と協力して開催。 ①11月頃に「高齢者虐待」をテーマに研修会を実施予定 ②2月頃に2回目研修会実施予定
訪問歯科診療	延べ11件	延べ2件
在宅医療支援 アンケート	・大野市内医療機関、調剤薬局、介護保険事業所、歯科医療機関、調剤薬局を対象に調査を実施、情報一覧冊子を作成し、アンケート協力機関及び市内居宅介護支援事業所等に配布。 ・6年度については、市外の6つの総合病院の連携室に「医療機関診療受入情報一覧」冊子を持参して説明、冊子の活用状況や紹介・逆紹介の現状等について情報収集予定(2医療機関実施済) *5年度：155部配布 *6年度：151部配布	

普及啓発活動	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅療養のすすめ、ACPのパフレット配布 5年度：在宅医療 1,100 部、ACP 1,100 部 6年度：在宅医療 511 部、ACP 511 部 ・ACPミニ講座 5年度：5回・49人参加、6年度：12回・121人参加 ・広報記事掲載 5年度：11/30「人生会議の日」にあわせ、市報11月号に啓発記事掲載 6年度：市報11月号に「人生会議」啓発記事掲載予定 ・図書館との企画展（①7月実施、②11月予定） ①在宅医療や人生会議に関する蔵書展示とあわせ、在宅医療のパネル展示、市民公開講座開催について広報 ②11/30「人生会議の日」に合わせて実施予定 パンフレットやチラシ展示を実施 ・福井県版エンディングノート「つぐみ」の配布 窓口やサロン、各種団体の会議等で配布 市民公開講座にあわせ、啓発ブースの設置、配布（県在宅医療サポートセンターに依頼）。 5年度：520冊 6年度：252冊
関係市町の連携	福井県入退院支援ルールに関して情報共有

(5) 生活支援体制整備事業

生活支援コーディネーターを配置し住民有志の話し合いの場である協議体を設置することで、生活支援の担い手の発掘・住民主体の活動の創出を行い、高齢者の社会参加及び生活支援の充実を推進する。

市全域を対象とした第1層協議体と、公民館を単位とした第2層協議体があり、2層についてはそれぞれの公民館を担当圏域内に持つ在宅介護支援センターに生活支援コーディネーターを配置する。

<第1層協議体の取り組み>

	生活支援コーディネーターの配置	協議体の設置
5年度	大野市社会福祉協議会に1名配置 ・第1層協議体の企画・運営 ・第2層設置に向けた住民勉強会への参加、協力	・大野市社会福祉協議会に委託し、「結の心でつながる支えあいの地域づくり推進会議」を3回開催（委員10人） ・第2層協議体設置に向けた住民勉強会への委員の参加、協力。既設協議体への参加。 ・社会資源の情報収集、冊子結ねっこの活用
6年度 (9月末)	・協議体合同研修会への参加・企画協力	・「結の心でつながる支えあいの地域づくり推進会議」を1回開催

	・コーディネーター連絡会 へ参加し情報交換	(今年度4回開催予定、委員10人) ・冊子結ねっとの内容更新
--	--------------------------	-----------------------------------

<第2層協議体の取り組み>

	生活支援コーディネーターの配置	協議体の設置
5年度	<p>旧中学校区毎に計4名配置 (在宅介護支援センター3箇所3名、和泉自治会1名：常勤換算。実人員は5年度6名、6年度6名)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1層協議体、各種研修会に参加 ・コーディネーター連絡会へ参加し情報交換 ・協議体設置に向けた住民勉強会の企画、運営 ・既設協議体の運営(月1回定例会開催)、活動への支援 ・地区の行事等を利用し、事業説明実施 ・協議体合同研修会(情報交換会)への参加・企画協力 	<ul style="list-style-type: none"> ・阪谷地区：「結の阪谷サポート隊」委員10人。「ちょっとした生活支援」にかかるしくみの検討、伏石モデル事業の実施【聖和園】 ・小山地区：「やさしい小山ささえ愛隊」委員9人。公民館でのあいさつ運動、住民主体の移動支援・憩いの場づくり検討【和光園】 ・乾側地区：「乾側みんなで助け合い隊」委員7人。集落毎に地域の「居場所」設置。上丁・大門・坂戸・尾永見にてモデル事業実施。 【社協】 ・富田、五箇地区：「富田・五箇おたすけ隊」委員24人。担い手と委員の情報交換会、集落毎の居場所事業、個別のニーズ把握等の実施 【聖和園】 ・大野地区：「あいさつで結び隊」委員12人。PRチラシ作成、各地区サロン等で説明。大野地区敬老会でニーズ調査をモデル的に実施 【和光園】 【社協】 ・上庄地区：「上庄だんねっと」委員9人。PRの継続、ニーズ調査の実施方法検討【聖和園】 ・下庄地区：委員13人。集落単位で地区役員等に対する個別の説明、ニーズ調査の実施方法・内容検討【社協】 ・和泉地区：11/20住民勉強会開催、和泉自治会生活チームを中心としたメンバーに新規賛同者を加え、1/12に協議体発足 【和泉自治会】
6年度 (9月末)		<ul style="list-style-type: none"> ・阪谷地区：委員10人。伏石モデル事業継続実施中。毎月15件程度の助け合い活動あり 【聖和園】 ・小山地区：委員9人。寄り合いやサロンでの説明会、公民館前でのあいさつ運動、住民主体の移動支援・憩いの場づくり検討中 【和光園】

		<ul style="list-style-type: none"> ・乾側地区：委員7人。「居場所」4箇所継続中。居場所とあわせた買い物支援や地域のイベントでのPR、新規モデル地区の開拓検討中【社協】 ・富田、五箇地区：委員24人。富田・五箇地区版の情報誌作成、集落毎の居場所事業、個別のニーズ把握等に取り組み中【聖和園】 ・大野地区：委員12人。PRチラシ作成、各地区サロン等で説明。ニーズ調査を実施するためのモデル地区検討中【和光園】【社協】 ・上庄地区：委員9人。PRの継続、ニーズ調査の実施方法検討【聖和園】 ・下庄地区：委員13人。集落単位で地区役員等に対する個別の説明、ニーズ調査の継続実施【社協】 ・和泉地区：「いずみ♡サポート隊」委員15人。一人暮らし等高齢者等へのアンケート実施、困りごとや今後希望する助け合い活動についてまとめ、全戸配布。除雪ボランティアのしくみ検討中。【和泉自治会】
--	--	---

(6) 認知症総合支援事業

認知症地域支援推進員を1名配置し、認知症の早期診断・早期対応を行い、認知症の方の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができる地域づくりを推進するため、各種事業を実施する。

①認知症カフェ

認知症の人とその家族、認知症に関心がある地域の方が集い、認知症の方の居場所づくりと交流、介護負担の軽減を図る。

	設置数	実施回数	参加人数
5年度	3ヶ所	36回	延522人
6年度(9月末)	4ヶ所	24回	延342人

5年度までは介護事業所への委託により3箇所で開催していた。

6年度については、6月から商業施設において地域包括支援センターが直接実施する出張カフェを開催している。

②認知症初期集中支援チーム派遣

市内の認知症サポート医の協力により実施。チームとしての活動実績はないが、認知症の相談を受け付けると、認知症地域支援推進員と包括の職員が訪問や電話等により対応、医療機関への紹介や介護サービスの調整を行っている。今年度の新規ケースだけでなく以前からの継続ケースへの対応もある。

	認知症初期集中支援 チーム活動	認知症相談対応状況	
	人数	新規人数	継続人数
5年度	0人	18人	10人
6年度（9月末）	0人	11人	9人

③認知症ケアパスの配布

認知症の症状、対応方法、相談窓口等を記載したパンフレットを市内医療機関をはじめとする関係機関に配布したほか、認知症相談対応時や介護認定申請時に窓口で活用している。

5年度：729冊、6年度：179冊

※5年度の配布部数は大幅な内容改訂を行ったため、配布部数が多くなった。

(7) 地域ケア会議

多職種を助言者とした事例検討を行うことで、介護予防や自立支援に有効な支援方針や困難事例の対応方法を協議し、課題解決や関係者のスキルアップを目指す。また、地域課題の発見や地域づくり・資源開発のきっかけとする。

	実施回数	事例数	助言者（延べ）
5年度	2回	4人	14人
6年度（9月末）	1回	1人	6人

4 任意事業

(1) 家族介護継続支援事業

高齢者を介護している家族の、身体的・精神的・経済的な負担軽減を図る。

①家族介護教室（在宅介護支援センターへ委託）

介護方法や介護サービスについての知識・技術の習得や、介護者同士が交流を図りながらリフレッシュする場として、家族介護教室を開催する。

	福井県済生会 聖和園	大野和光園	大野市社会福祉協議会 (和泉含む)
5年度	3回 延 63人	3回 延 35人	3回 延 54人
6年度（9月末）	1回 延 12人	1回 延 12人	1回 延 22人

※第1回家族介護教室は市内全体での合同開催。

※その他、介護用品支給事業（おむつの購入支援）等長寿Gで実施。

(2) 地域自立生活支援事業

高齢者が住み慣れた地域で、できる限り自立した生活が送れるよう支援する。

① 介護サービス相談員派遣事業

介護サービスの質の向上を目的に、市が委嘱する介護サービス相談員が介護サービス事業所を訪問し、利用者の意見聴取や、利用者と事業者の橋渡しを行う。

	介護サービス相談員人数	派遣事業所数
5年度	5名	33事業所
6年度(9月末)	7名 ※6年度2名新規委嘱	18事業所

② 成年後見制度利用支援事業

成年後見等の申し立ては本人、配偶者、4親等内の親族が行うことができるが、申し立てするものがない場合は、市長による申し立てを実施する。

市長申し立て数 5年度：0件 6年度：9月末0件

③ 認知症サポーター養成事業（キャラバン・メイト活動）

認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、地域や職域・学校等において、キャラバン・メイトが講師となり、認知症の人や家族を温かく見守る応援者「認知症サポーター」を養成する。

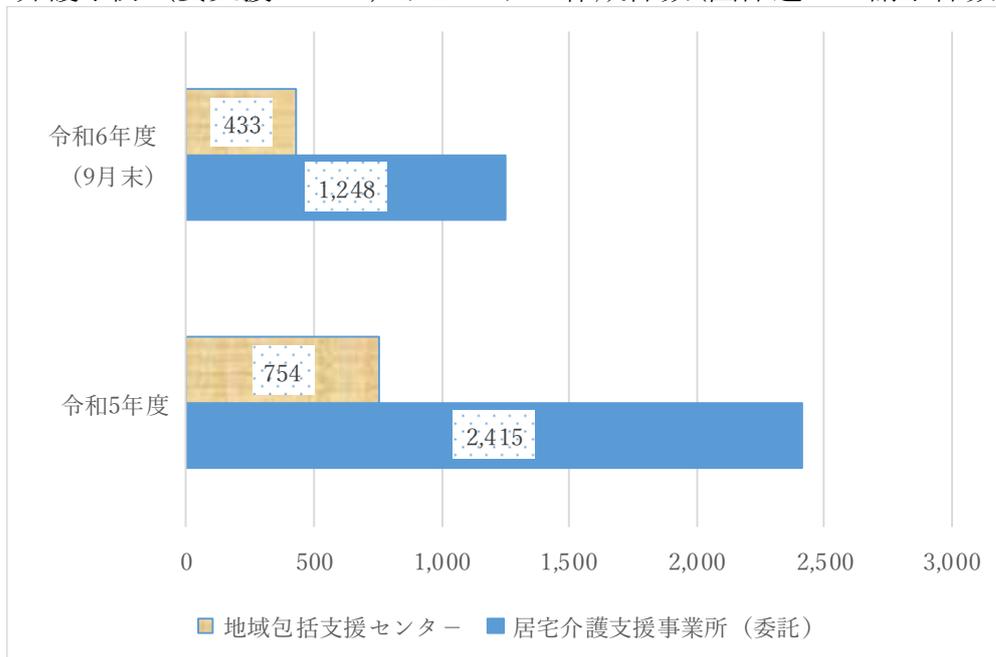
	回数	延参加人数	活動メイト実数
5年度	6回	113人	7人
6年度(9月末)	7回	93人	5人

・キャラバン・メイトとは、所定の研修を受けて、認知症に関する出前講座を行う者。

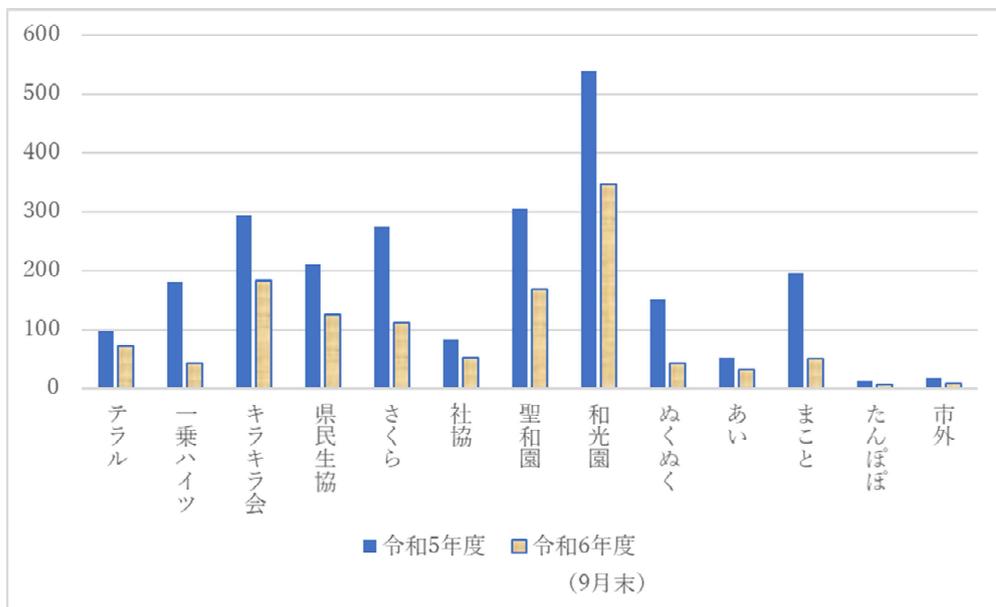
5 居宅介護予防支援事業

要支援の認定者が、介護予防のためのサービスを適切に利用できるよう、ケアプラン（介護予防サービス計画）の作成や、サービス事業所との連絡・調整などを行う。

(1) 介護予防（要支援1・2）ケアプラン作成件数(国保連への請求件数)



(2) 介護予防（要支援1・2）ケアプラン委託件数（R6は10月審査分）



6 その他

地域包括支援センターとしての業務以外に、次の事業も実施している。

* 老人保護措置事業、生活管理型ショートステイ事業、生活支援型ホームヘルパー派遣事業、お出かけほっとサロン事業など。